



かけはし



教科書ってどうして無償なの？

なぜなに
パワー

◆私は小学生の頃からまっさらな教科書のにおいが好きでした。

一年生は入学式の日、二年生から六年生の方は始業式の日、そんなまっさらな教科書をいただきましたね。いいにおいがしませんでしたか？

ところで、その教科書はただでもらえます。お金を払う必要はありません。みなさんは、それが当たり前のように思っているかもしれませんが、私が生まれた頃は、お金を払って買っていたのですよ。いくらぐらいだと思いますか？

今のお金の値打ちに直すと…

小学校は、6,000 円 中学校は、18,000 円ぐらいかな？（推測です）

高いですか？ 安いですか？



◆私の家のように、現在子どもが三人（小一人・中二人）いるとすれば、一時に 42,000 円が必要になります。大変苦しいです。子どもがもっと多くいた当時は、教科書を買える家庭はそんなに多くなかったようです。兄弟姉妹が使っていたものを使い回したり、知り合いから譲ってもらったりしながら勉強していたようです。

教科書を用意できない子もたくさんいたそうですよ。

◆このことに、ひとりのお母さんが「おかしいな」と気付きました。日本の国の憲法に「義務教育は無償とする」（無償とはただという意味です。）と書いてあるのに、どうして教科書を買わなければならないの？教科書がただになったら、お金のことを心配しないで、だれもが平等に安心して勉強ができるのに…。



そんな小さな疑問が、願いとなり、一人から二人、二人から十人、百人、何万、何十万、何百万の声となって、ついに小学校と中学校の教科書が国からただでもらえるようになりました。すべての子どもたちが、平等に同じレベルの教育を受けることができるようになったのです。

たった一人の小さな願いが多くの人たちの声となって叶いました。

◆今、みなさんが手にしている教科書には、そんな多くの人たちの願いが込められています。だからこそ、その思いをムダにしないように、教科書を大切に使いながら一生懸命勉強しなければなりません。恵まれた時代に生まれたことに感謝しながら、基礎的・基本的な学力、生活に生きてはたらく確かな学力をしっかりと身につけておかなければなりません。うんと頑張って、うんと賢くなってみせましょう。

◆というお話を子どもたちにしました。**もの**があふれる時代、でも本当に大切な**もの**は何か、今一度家庭でも考えていただけると幸いです。